

地域密着型金融の取り組み状況

(平成22年4月～23年3月)

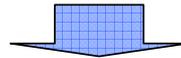


地域密着型金融の基本的な考え方

経営理念 「三者共栄」

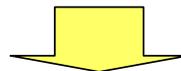
～信頼の輪を広げるコミュニティバンク～

お客様、金庫、職員、三者相互の発展と幸せを築いていく「三者共栄」の経営理念のもと、地域に密着した金融機関として、地元事業者や個人の皆様とのきずなを深め、持続的発展が可能な地域社会づくりをめざします。



中期経営計画「変革・挑戦・情熱 2012」(平成21年4月1日～平成24年3月31日)

スーパー-SAFETY	「経営力強化」	強固な経営基盤・財務力・収益力
スーパー-STRONG	「人財育成」	強い業務力・事務管理能力・人財力
スーパー-SYMPATHY	「顧客サービス拡充」	思いやり・気配り・サービス力



経営理念に基づく中期経営計画「変革・挑戦・情熱 2012」の着実な取り組みにより『地域密着型金融』を推進します。

< 地域密着型金融の3つの柱 >

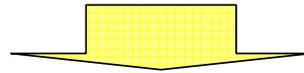
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

地域密着型金融推進のための5つのネットワーク

今回の地域密着型金融の柱である

1. 「ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化」
2. 「事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底」
3. 「地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献」

を推進するにあたり、当金庫の特徴である中小企業金融の強みを活かし、「中小企業の経営改善・再生支援」を柱とする下記の「5つのネットワーク」を強化・推進することにより、中小企業と地域社会の発展に取り組みます。



<5つのネットワーク>

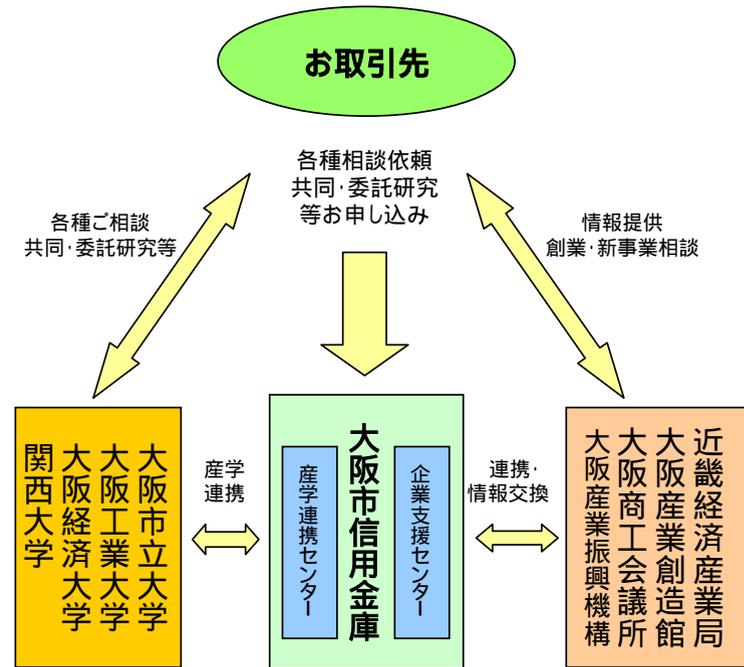
- | | |
|------------------|--|
| 1. 「産学官のネットワーク」 | 創業・新事業支援、再生支援、ビジネスマッチング |
| 2. 「他業態とのネットワーク」 | 担保・保証に過度に依存しない融資等の推進、再生支援・事業承継、ビジネスマッチング |
| 3. 「顧客とのネットワーク」 | 経営相談・経営改善、再生支援、ビジネスマッチング |
| 4. 「地域とのネットワーク」 | 地域社会への貢献、利用者の利便性向上 |
| 5. 「金庫内ネットワーク」 | 人材育成、総合サービス力の向上 |

ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

1. 創業・新事業支援への取り組み

- (1) 創業・新事業支援融資
 創業・新事業支援機関(大阪産業創造館、大阪産業振興機構、大阪商工会議所等)との緊密な情報ネットワークにより支援融資を行いました。
 創業・新事業融資実績 81件 530百万円
- (2) (財)大阪市都市型産業振興センター(大阪産業創造館)主催の創業・新事業支援事業に積極的に協力しました。
 ・「飲食 de 開業しメッセ！」に昨年に続き協力し、開業に対する相談ブースを設置(6月)。ご相談者に対して開業支援融資を実行(8月)
 ・「創業チャレンジゼミ」プレゼン大会に参加し、創業希望者と情報交換を実施(7月)
 ・「あきない虎の穴(飲食業開業実践講座)」修了式に出席し、開業希望者と情報交換を実施(11月)
- (3) (独)中小企業基盤整備機構近畿支部主催「テクウマルシェカップ2010・ミーツチャレンジキッチン」に創業企業に参加してもらい、新商品開発を支援しました(9月)
- (4) 「食の都・大阪」推進会議(事務局:大阪商工会議所)主催の第1回「食の都・大阪グランプリ」(和洋中のプロ料理人等向け)飲食店で提供できる大阪らしい料理”の本格的料理コンテスト)に開業支援先に情報提供を行って参加奨励し、新メニューづくりを支援しました(11月)

産学官ネットワーク



< 産学連携センター >

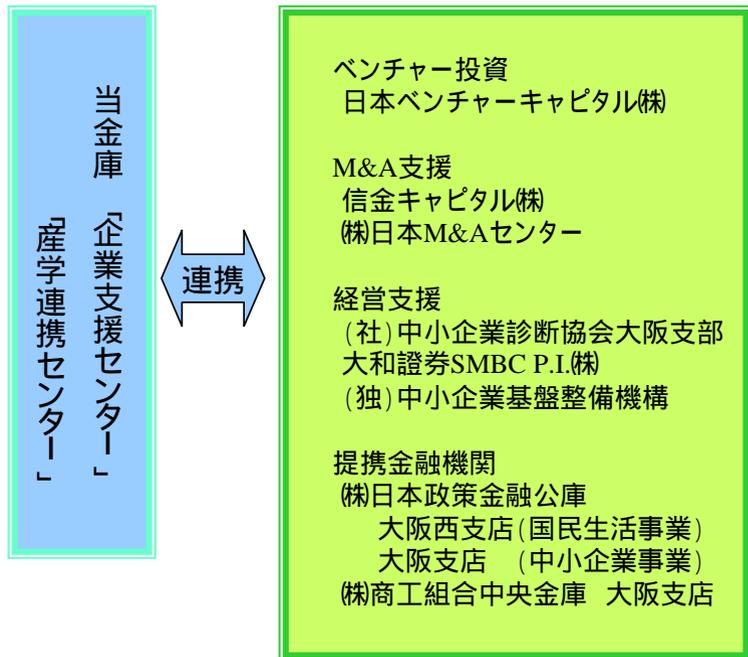
お取引先からの技術・商品開発面でのニーズにお応えするため、平成15年10月に「産学連携センター」を創設し、IT技術から医療・バイオまで幅広く対応できる大阪市立大学や全国唯一の知的財産学部を有する大阪工業大学、さらには大阪経済大学と企業に関する共同調査・研究を開始するとともに、関西大学とも地域連携活動を進めています。

ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

2. 金融円滑化、経営改善・再生、事業承継等 経営支援への取り組み

- (1) 金融円滑化に対応し、新規融資や返済条件変更等のご相談・お申し込みに対する適切な対応、ならびに取引企業に対する経営改善計画策定等の支援を実施しました。
- (2) 地域の中小企業や個人のお客様に必要な資金を安定的に供給し、地域金融の円滑化に取り組んでいます。また、営業店に「相談窓口」を設置し、休日相談も実施しています。
- (3) 事業承継問題の解決に向けて、企業支援センター、産学連携センターが信金キャピタル(株)や(株)日本M&Aセンターと連携し、M&A支援に取り組んでいます。
- (4) 若手経営者・後継者等を対象とした実践経営塾「市信」クラブ」の活動により、中小企業の人材育成に取り組ましました。

経営支援に向けた主な提携先



< 企業支援センター >

平成15年に「企業支援センター」を創設し、公的金融機関との協調融資や(社)中小企業診断協会との創業・起業、企業再生支援など外部機関との連携によりお取引先とともに経営・再生支援に取り組んでいます。

ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

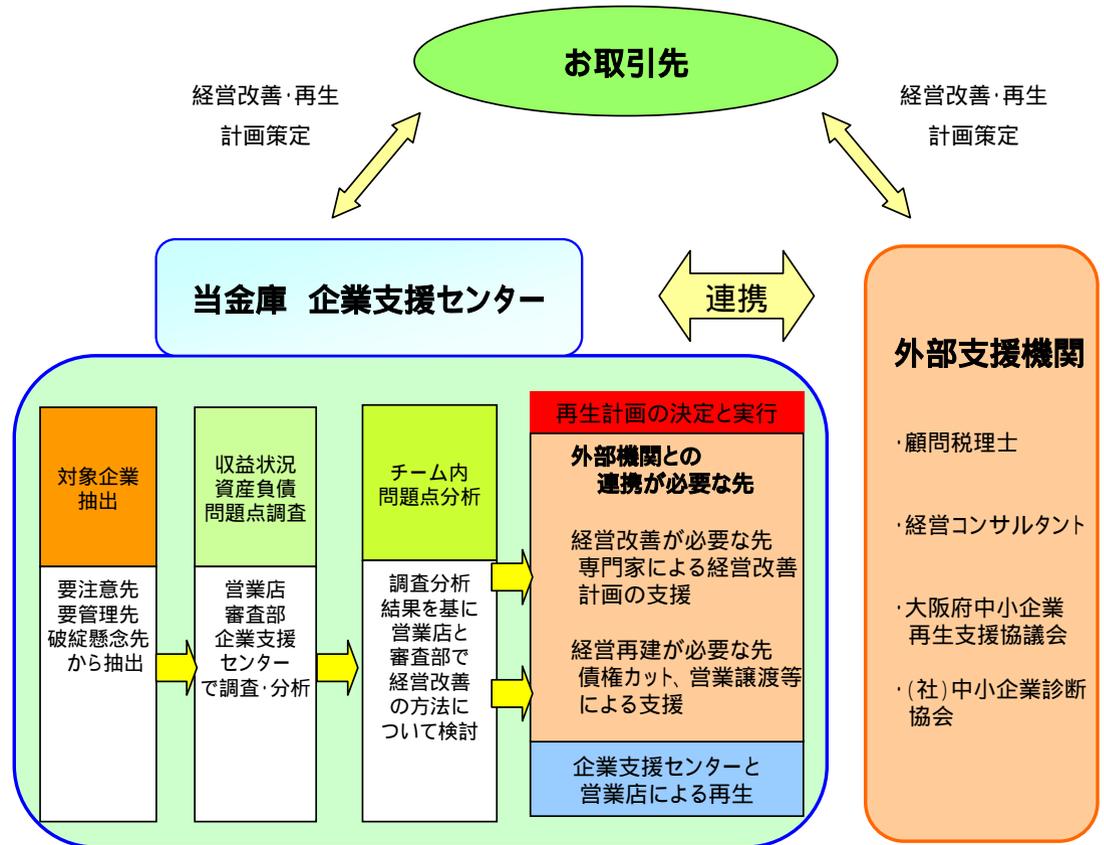
2. 金融円滑化、経営改善・再生、事業承継等 経営支援への取り組み

(5) お取引先の経営改善支援先124先(うち再生支援先63先)を選定し、事業再生計画の策定・実行を支援しました。お取引先・営業店・本部が連携して企業再生スキームに沿ってランクアップに取り組みました。

<平成22年度の取り組み実績>

経営改善支援取組先数 124先
 経営改善支援取組率 2.72%
 再生計画策定先数 63先
 再生計画策定率 50.81%
 ランクアップ先数 8先
 ランクアップ率 6.45%
 期初債務者数 4,555先
 (正常先除く)

企業再生スキーム



・事業価値を見極める融資手法をはじめ 中小企業に適した資金供給手法の徹底

1. 中小企業に適した資金供給の徹底

- (1) 緊急保証制度など保証協会無担保融資を活用した取り組みを引き続き実施しました。
緊急保証融資実績
3,006件 594億円
- (2) (株)日本政策金融公庫・(株)商工組合中央金庫などの外部機関と連携し、協調融資を引き続き実施しました。
協調融資実績
27件 676百万円
- (3) (財)堺市産業振興センターと債務保証に係る提携を行いました(4月)。
- (4) 日銀新貸出制度の創設を受け、成長分野支援プロジェクトチームを立ち上げ、総合的に成長分野の企業を支援しました。
成長分野融資実績
14件 1,060百万円

2. 目利きのできる人材の育成

- (1) 金庫職員の専門的なスキル向上のため研修・セミナーを実施しました。
 - ・「金融円滑化対応勉強会」
 - ・「得意先係実践講座」
 - ・「土曜講座(審査能力向上講座、融資判断実践講座)」
 - ・得意先係職場離脱研修(与信判断、金融円滑化、企業再生支援、『市信PLUS事業』の理解と活用等) ほか
- (2) 得意先係が、特定業種(9業種)に対する専門的な知識の習得をめざす「業種別スタディーグループ」の勉強会を実施しました。

業種別スタディーグループによる勉強会の実施



「業種別スタディーグループ」は、平成18年度にスタートし、これまで延べ772名の得意先係が目利き力の向上に取り組んでいます。

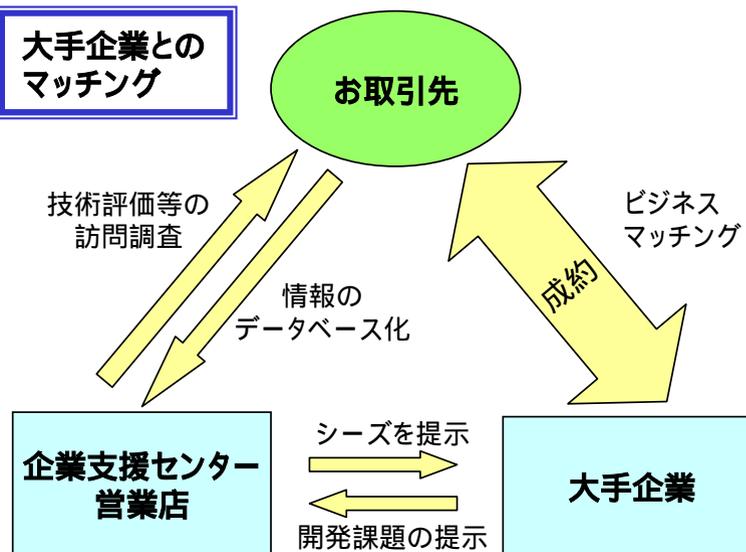
主要9業種にグループ化し、それぞれの業種について研修スキームに則して、継続的に勉強会や工場見学等を実施しています。

地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

1. 地域活性化に繋がる多様なサービスの提供

- (1) 大阪府商工労働部・大阪府立特許情報センター・大阪商工会議所・大阪産業振興機構・大阪産業創造館等からの情報を取引企業に提供しました。
- (2) 大手企業とのビジネスマッチング
大手企業のニーズと取引企業の製品・技術を結びつけることにより、持続可能な発展に繋げることができると考え、お取引先の事業内容・技術・ノウハウ・特許等を情報をデータベース化(1,000先)し、大手企業とのビジネスマッチングに活用しています。
- (3) 大阪商工会議所の事業に協力
 - ・大阪商工会議所を拠点とし、中小企業の経営力向上を支援する「大阪中小企業応援センター」に連携機関として参画しています。
 - ・商店街・賑わいプロジェクト事業「100円商店街」に参加しました。
「京橋中央」「桃谷本通東」「黒門市場」「東成しんみちロード」「平尾本通」の各100円商店街
 - ・販路拡大マッチング「買いまっせ！売れ筋商品発掘市」に協力しました。
 - ・企業展示会「モノづくりフェスタ in 生野・東成2010」に協賛事業として3年連続参加しました。
 - ・中小企業の国際ビジネスを支援する「大商国際ビジネスサイト Intl-OCCL」にサポーター企業として登録しています。

大手企業との マッチング



東成しんみちロード100円商店街に参加



地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

1. 地域活性化に繋がる多様なサービスの提供

- (4) 大阪産業創造館の平成23年度事業である「金融機関×大阪市」で中小企業を弾力的にサポートする『中小企業応援団』に参画しました。今後、マッチングイベント等で中小企業の販路拡大を応援します。
- (5) 大阪府商工労働部との共催で、お取引先のマッチングを支援する「コラボミーティング」を開催しました。お取引社3社、大阪府のコーディネーター、当金庫職員など25名が参加しました。
- (6) 産学連携セミナーの開催
大阪市立大学と連携し、「第5回産学連携セミナー」を開催しました(参加者60名)。
大阪工業大学と連携し、「第5回知的財産セミナー」を開催しました(参加者70名)。

- (7) 市信クラブ「接遇講座」の開催
市信クラブ会員企業の社員の方々を対象に、専門講師によるマナー基礎研修を毎年開催しています。
- (8) 外部研修生の受け入れ
関西の6大学からインターン実習生8名を受け入れ(13年連続)(8月)
地元の中학생を迎えて、職場体験学習を実施(4カ店)
加島(6月)、福島(11月)、住吉(2月)、長吉(2月)
- (9) 市信健康セミナーの開催
当金庫八尾支店では、地元の病院の協力を得て、「市信健康セミナー」を毎月開催しています。
- (10) 地域経済を展望した情報提供
当金庫「市信総合研究所」では、地元中小企業を対象に景気動向等の調査を実施し、その調査結果をお取引先のほか、報道機関や行政機関などにも広く還元しています。

「モノづくりフェスタ」に参加



「産学連携セミナー」を開催



インターン実習生を受け入れ



地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

市信PLUS事業

大阪市信用金庫は、取引先中小企業の事業支援を行うため、平成19年10月に「市信PLUS事業」を立ち上げました。

この取り組みは、当金庫が持つノウハウを駆使し、取引先の事業を幅広い分野で支援するものです。地域のがんばる中小企業や優れた技術の発掘、さまざまな経営課題の解決など、多様な活動を通して地元企業の活性化を図っています。

詳細な「技術ハンドブック」を営業店の得意先担当者が携行し、優れた技術やノウハウを有した取引先の発掘に努めているほか、取引先から要望が多かった販路拡大の支援に向け、大手企業の協力を得て新たな技術マッチングモデルを構築し、大手企業の技術課題に対応する確度の高いコーディネートを進めています。

また、連携機関から講師を招き、「中小企業の技術経営講座」を開催しました。

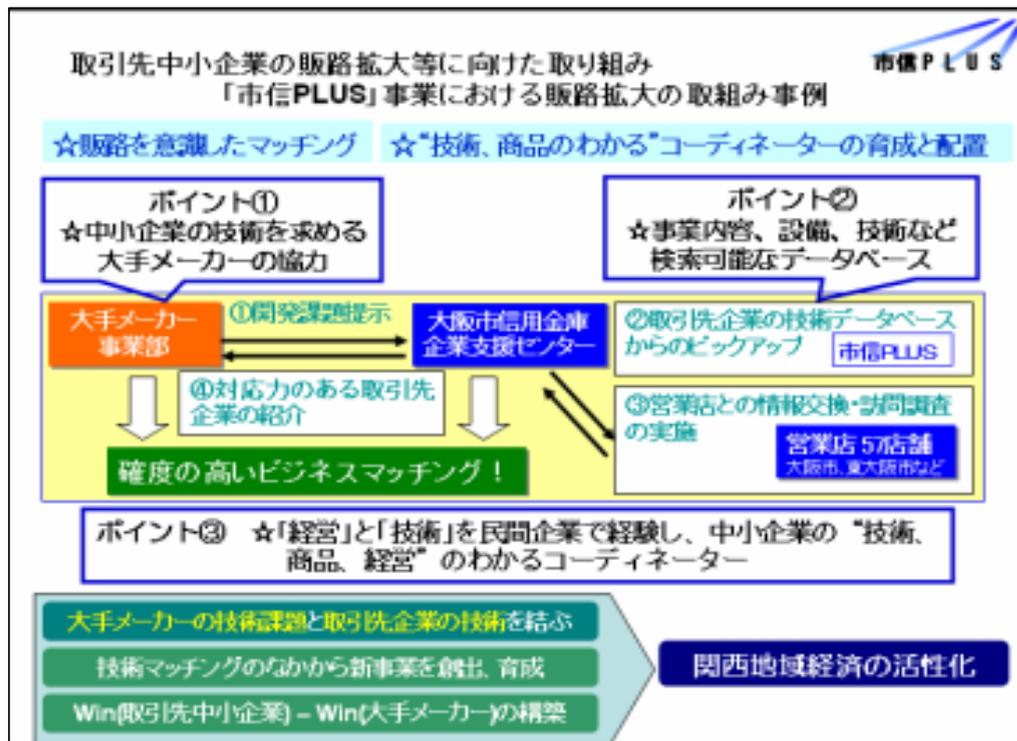
【主な取り組み】

- ・経営革新申請のご提案
- ・新規事業挑戦のための事業課題のご提案
- ・公的支援制度や開発補助金のご紹介
- ・大学の研究成果活用のご提案
- ・知財戦略、特許申請のご相談
- ・ビジネスモデルのご相談

当金庫の「取引先中小企業の販路拡大等に向けた取り組み」が優れた取り組みであると高い評価を受け、平成22年1月に近畿財務局長から顕彰状を授与されました。

また、(社)全国信用金庫協会主催の第13回信用金庫社会貢献賞においても、「地域活性化しんきん運動・優秀賞」を受賞しました。

(右写真/表彰を受ける新堂会長(中央))



地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

市信商店街PLUS事業

「地域商店街活性化法」施行に伴い、当金庫独自の支援事業として「市信商店街PLUS事業」を立ち上げ、大阪の商店街の各団体と、地方の事業者とのネットワークを構築し、府下商店街の活性化を支援しています。

「地域にコト(催事)をつなぎ、モノ(消費)を創出する事業」をコンセプトとして、大阪府下全域の商店街との協創関係のなかで、持続的かつ発展的な事業モデルを目指しています。

- (1) 事業に当たった課題を探るため、トライアル事業の実施
「第8回土居祭り」へ産直業者を紹介(信用金庫との連携による)
「西成区商店街にぎわい祭り」へ産直業者を紹介(地方公共団体との連携による)
- (2) 「市信PLUS事業・商店街活性化セミナー」の開催
地域商店街の役員や近畿経済産業局、都道府県の行政担当者などに「市信PLUS事業」の内容を説明。
- (3) 商店街イベント事業をコーディネート
地方公共団体との連携により、産直業者を紹介。
・天神橋筋商店街1・2丁目、メルシー粉浜、鶴見橋七番街商店街、なにわ七幸祭り「七幸市」、てんま天神梅まつり
- (4) 近畿財務局主催の「地域密着型金融に関するシンポジウム」に河村理事長が出席し、「市信PLUS事業における商店街活性化支援事業」について発表しました。
また、同支援事業が平成21年度の優れた「地域密着型金融に関する取組」であるとして、昨年に続き2年連続で近畿財務局から顕彰状を授与されました。

「てんま天神梅まつり」で地公体と連携



近畿財務局から顕彰を受ける



地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

2. 地域社会の発展に向けた継続的な社会貢献活動

当金庫は、CSR活動の一環として、地域社会の発展に向けて継続して社会貢献活動や地域のイベントに積極的に協賛・参加しています。

(1) 地元イベントへの協賛

「天神祭」、「大阪城 城灯りの景」、「御堂筋オープンフェスタ」、「平成OSAKA 天の川伝説」、「OSAKA水上音楽パレード」、「御堂筋kappo」、「大阪あきない祭り」、「大阪メチャハッピー祭」、「OSAKA光のルネサンス」などに協賛。

(2) スポーツ振興(協賛・協力)

「大阪府春季少年軟式野球大会」、「日本ジュニア室内陸上競技大阪大会」、「OSAKA緑のウォーキングリレー」、「水都大阪100kmウルトラマラニック」、「オリンピックデーラン大阪大会」、「大阪国際トライアスロン大会」、「世界スーパージュニアテニス選手権大会」、「水と歴史の都 大阪ウォーク」などに協賛・参加。また、セレッソ大阪との共催で「サッカースクール」を開催(10回目)。

(3) ボランティア活動、寄付等

大阪ユニセフ協会主催の「ユニセフ・チャリティ・ウォーク」に協賛参加するとともに、「ユニセフ・チャリティバザー」や「ユニセフ・チャリティコンサートイン 四天王寺」に協力。

大阪市が提唱する「クリーンおおさか」の活動に協力したほか、各店店周の清掃活動を毎月実施。また、6月15日の「信用金庫の日」には、府下信金と協力して、全店一斉清掃と献血活動を実施。

歳末恒例の「大阪市信愛の募金基金」街頭募金を実施し、その浄財を大阪市などの福祉団体に寄付。

当金庫役職員による「宮崎県口蹄疫被害義援金」を寄付。

使用済みプリペイドカードを全店で回収し、大阪ボランティアセンターに寄贈。

天神祭に協賛



大阪府春季少年軟式野球大会に協賛



地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

2. 地域社会の発展に向けた継続的な社会貢献活動

(4) 環境への取り組み

地球環境にやさしく、見やすい通帳(エコ&カラフル通帳)を引き続き採用。環境支援融資やエコカーローン・エコリフォームローンの取り扱いにより、環境改善に取り組む個人や企業を応援。
エコファンド「損保ジャパン・グリーン・オープン(ぶなの森)」を取り扱い、大阪市が提唱する循環型社会の構築に呼応して、引き続き、廃棄書類の溶解処理と、再生紙の利用を促進。
空調設備の稼働時間の短縮やエレベーターの無駄な使用抑制などの電力使用量の削減(5年間で6%削減)をはじめ、ガソリン、ガス、コピー用紙などについても合理化に取り組む。
省エネ対策として、営業店の空調機をエコタイプに取り替え(6店舗)。
環境にやさしい粗品(エコタオルなど)を採用。
低炭素都市をめざす堺市をバックアップするために、堺市に拠点を有する地域金融機関が中心となり設立した「SAKAI エコ・ファイナンスサポーターズ倶楽部」に参画。

(5) その他活動

AED(自動体外式除細動器)を8ヵ店(本店営業部・生野・阿倍野・布施西・城東・住吉・住道・姫島)のATMコーナーに設置。
大阪市と民間6企業が協働で取り組み、がん検診の受診率の向上を目指す「知ろう!受けよう!がん検診プロジェクト」に参加。「がんを知る展~自分らしく生きるために~」を本店営業部ロビーで開催。
当金庫本店2階ホールを活用し、講演会を開催。
・セレッソ大阪・森島寛晃アンバサダー記念講演会
・「元気だよ!関西経済セミナー第2弾」((社)日本経済復興協会との共催)
・「健康ウォーキング講座」(OSAKAウォーク&クルーズ in 中之島)

環境にやさしい「エコ&カラフル通帳」



「がん検診プロジェクト」に参加



調印式にて、新堂会長(左から3人目)と平松大阪市長(中央)ほか

地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

3. 顧客満足度を高める商品・サービス等の提供

お客さま満足度を高めるため「アンケート調査」を実施し、その結果を踏まえ、商品・サービスを提供しました。

< 新商品の取り扱い >

金利上乘せ等特約付新商品の発売

- ・定期預金「サマープレミアム2010」(22年6月～8月)
- ・定期積金「わんだフル」(22年8月～9月)
- ・「開運！迎春定期預金」(22年10月～11月)
- ・市信プレミアム定期預金「春・優・悠」(22年12月～23年3月)

その他商品の発売

- ・新保険商品「学資保険」(22年10月～)
- ・特別優遇金利「事業融資・住宅ローン」(22年9月～23年3月)
- ・市信リフォームローン「増・快・築」(22年11月～)

< 金融サービスの提供 >

- ・「市信くらしの相談(休日相談)」を毎月第3日曜日に、本店・城東ローンセンター・はなぼ～と出張所で実施。
- ・個人出資会員向けの「<市信>夢ふくらむポイントサービス」を継続実施。
- ・お客さまの利便性を高めるため、カードローンの適用レートを引き下げるとともに、カード発行手数料を廃止。
- ・「金融ADR制度」に対応し、利用者保護の取組を強化。
- ・豊中支店と堺支店を、新たに外貨両替店として設置。
- ・韓国ウォン、新台幣ドルのFIX送金サービスの取り扱いを開始。
- ・人民元による決済ニーズの高まりに伴い、信用金庫で初めて「人民元建て貿易決済業務」の取り扱いを開始。

- ・地元中小企業の海外ビジネスを積極的に支援するため、「アジアビジネス・サポートデスク」を設置。
- ・障がい者に配慮した取り組みとして、視覚障がい者用「サインガイド」「コミュニケーションボード」「簡易筆談器」を、聴覚障がい者を対象とした「耳マーク表示板」「耳マークシール」を営業店に導入。
- ・認知症の方やその家族を支援するため、役職員が本店2階ホールで「認知症サポーター養成講座」を受講。全店に「認知症サポーター」を配置。

認知症サポーター養成講座を受講



地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

4 .その他の活動

< 東日本大震災 被災者支援活動 >

- ・「東日本大震災」募金箱を全店の店頭を設置 (23年3月15日)。
- ・「東日本大震災義援金」の窓口受付を実施 (23年3月15日～9月30日)。
- ・地震災害に関する「特別相談窓口」を全店に設置 (23年3月17日)。
- ・「被災地支援街頭募金」を、職員320名が参加し市内9ヵ所で開催 (23年3月19日)。
- ・被災信用金庫の預金代払いの取り扱いを開始 (23年3月28日)。

[参考(23年4月)]

- ・(社)全国信用金庫協会へ支援見舞金800万円を寄託 (23年4月)。
- ・大阪市に義援金1千万円を寄託 (23年4月7日)。
- ・「被災地支援募金活動」の浄財(約265万円)を大阪市のほか 各新聞社の福祉団体に寄託するとともに、救援物資(段ボール60箱)を大阪市に寄託 (23年4月7日)。
- ・(社)全国信用金庫協会に役職員からの義援金約234万円を寄託 (23年4月)。
- ・信金中央金庫へ食料を中心に支援物資(段ボール10箱)を寄託 (23年4月)。
- ・「東北地方太平洋沖地震対策特別融資」を取り扱い(23年4月8日～12月30日)。
- ・「東日本大震災復興応援定期預金」を取り扱い (23年4月18日～9月30日)。
- ・(財)日本国際連合協会関西本部・(社)関西経済同友会・(社)日本WHO協会に、それぞれ義援金10万円を寄託 (23年4月)。
- ・大阪ユニセフ協会・(財)日本オリンピック委員会に、それぞれ義援金30万円を寄託 (23年4月20日)。
- ・大阪府軟式野球連盟に義援金100万円を寄託 (23年4月21日)。

東日本大震災義援金を大阪市に寄託



平松大阪市長(左)と新堂会長

職員320名が街頭募金活動を実施

